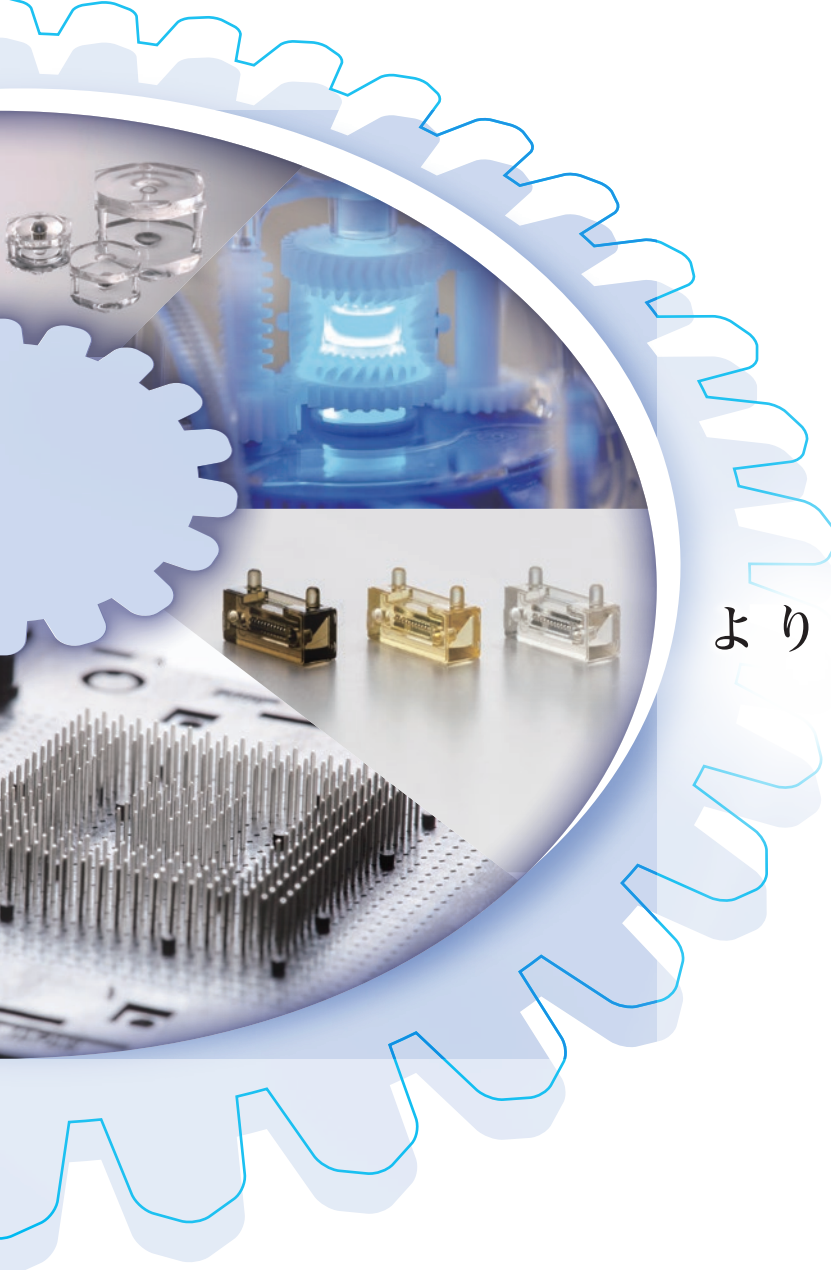


株式会社エンプラス

(証券コード:6961)



よりよき明日を目指して

2021年3月期(第60期) 報告書
2020年4月1日から2021年3月31日まで

enplas



株式会社エンプラス

Contents

01. 企業理念

02. 株主の皆様へ

04. 連結業績の推移

05. 事業別概況

06. エンプラスのESG

09. 会社概要/株式情報/株主メモ

10. グローバルネットワーク 国内ネットワーク

巻末. グローバルネットワーク 海外ネットワーク



わが社の使命

信頼の絆をもとに、あらゆる変化に対応する強靱な経営基盤を堅持し、

1. お客さまに感謝される製品とサービスを提供します。
2. 能力と成果を公正に評価し、社員の生きがいを育みます。
3. 株主の皆さまの期待に応え、企業価値の向上を目指します。

これらの実践を通して豊かな社会の発展に貢献します。

事業領域

エンジニアリングプラスチックで培った先進技術をもとに、さらに最先端技術を追求し、創造的価値を世界市場に提供します。

経営姿勢

1. 卓越した技術と信頼される製品により、競争力と成長力を追求します。
2. 健全な財務体質により着実な発展を図ります。
3. 全ての企業活動において確かな品質に責任を持ちます。

行動指針

1. 創造的な目標を掲げ、情熱を持って挑戦します。
2. 感謝の心と学ぶ姿勢を大切にします。
3. 公私を明確にし、公明正大に行動します。



株主の皆様へ

当社は、創業以来培ってきたエンジニアリングプラスチック総合技術のさらなる先進化と活用により、常に高精度、高機能、高品質を追求し、お客様に感謝されるより良い製品とサービスの提供を通して社会の発展に貢献してまいります。

代表取締役社長

横田大輔

世界各地で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) により亡くなられた方々に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、この新しい感染症から多くの人々の命を救うため、昼夜を問わず現場の最前線でこの感染症に立ち向かっている医療従事者及び関係者の皆様に心から敬意を表します。

Q 第60期の経営実績、第61期の見通しについてお話しください。

当連結会計年度の売上高は29,437百万円 (前期比6.4%減) となり、営業利益は2,120百万円 (前期比2.0%減)、経常利益は1,906百万円 (前期比11.4%減) となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、早期希望退職優遇制度の実施等により事業再構築費用478百万円を計上したこともあり、893百万円 (前期比82.5%増) となりました。

各セグメントの業績につきましては5ページに掲載

しております。

世界経済は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大による著しい経済活動の停滞から脱し、一部では経済活動再開の動きが見られるとともにワクチン接種開始により感染拡大収束が期待されますが、米中の対立によるサプライチェーンの混乱や世界的な半導体不足など依然として先行き不透明な状態が続いております。

そのような状況の中、当社では「持続可能な成長を実現し、社会的価値の創造に貢献する」を第61期の経営基本方針としております。当社は世界規模での社会課題に対して当社の技術やソリューション提案力の強みを繋げることにより、社会貢献を図るとともに、新規事業創出の機会としてまいります。併せて既存事業の強化にも取り組み、企業価値の向上及び株主価値の最大化を目指してまいります。

中長期の考え方についてお話しください。

当社経営の生命線は「新規性の追求」にあると考えており、顧客や関係する機関とこれまでに築き上げてきた信頼関係のもと、継続的に研究開発を行い、次の事業の種を撒いております。また、コンシューマー用途からインフラ用途へと事業ポートフォリオをシフトすることで変動の大きな事業運営ではなく「持続可能な成長」を目指してまいります。

この「新規性の追求」と「持続可能な成長」に向けて前提となるのは、ガバナンスの強化であると考えております。社外取締役を3名から4名に増員することで、独立社外取締役比率は過半数となりました。また、任意の指名・報酬諮問委員会を設置し、独立社外取締役が過半数になる構成で、議長を独立社外取締役としました。そして、株主目線で中長期的な企業価値を追求するために、長期インセンティブとしての譲渡制限付株式報酬制度を導入いたしました。

当社は現在、エンブラ事業、半導体機器事業、オプト事業の3つのセグメントで開示をしておりますが、「新規性の追求」と「持続可能な成長」を進めるためには、これまでの事業領域の定義を変え、新たな事業機会の創出を図っていく必要があると考えます。したがって、エンブラ事業をEnergy Saving Solutionと、Life Scienceに分け、半導体機器事業はSemiconductor、オプト事業はDigital Communicationとして今後は開示いたします。

Life Science関連についてお話しください。

当社はこれまで、Life Scienceの分野に多くの投資を

してまいりました。この投資を通して、多くの技術や良質な顧客群を得ることができております。当社がもともと有していた顧客群も合わせて、米国、欧州、日本で、顧客ネットワークが広がっております。

これまでに得られた知見や技術と当社のコアコンピテンシーである流体制御技術や超微細加工技術を組み合わせ、世界中のお客様に当社ならではのソリューションを提供してまいります。Life Science分野は投資のステージを終えて、注力すべき技術分野、マーケットを絞って、刈り取りの段階に移っていきます。

株主の皆様一言お願いします。

私たちは、創業以来培ってきた高精度・微細加工技術をもとに、当社にしか実現できない高付加価値製品の開発に挑戦し、お客様に感謝される製品・サービスを提供することで、豊かな社会の発展に貢献してまいりました。世界情勢は先行き不透明な状況が続く中、当社の技術を活用し、引き続き社会に貢献できる製品を開発してまいります。

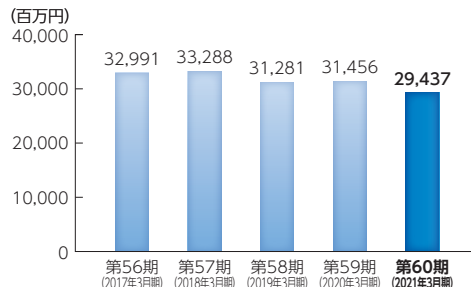
また近年、中長期的な視点で企業価値を評価する際に、財務情報だけでなく、環境・社会・ガバナンスに関連する非財務情報を重視する傾向にあります。ESGに関する当社の取り組みを6~8ページに掲載しておりますので、ご覧頂けると幸いです。

今後とも、株主の皆様にはより一層のご支援とご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

連結業績の推移

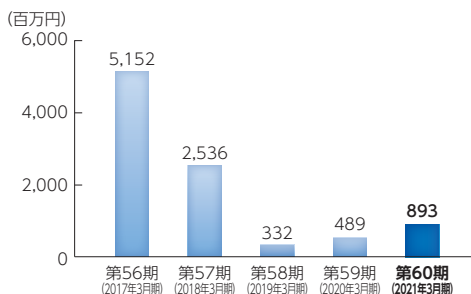
■連結売上高

1

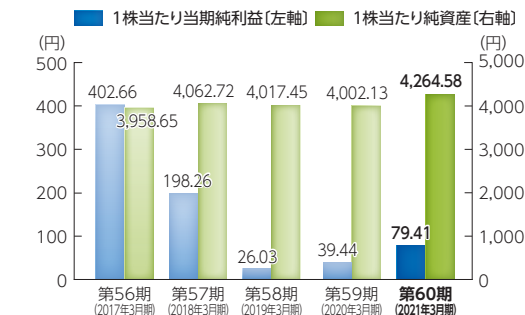


■親会社株主に帰属する連結当期純利益

3

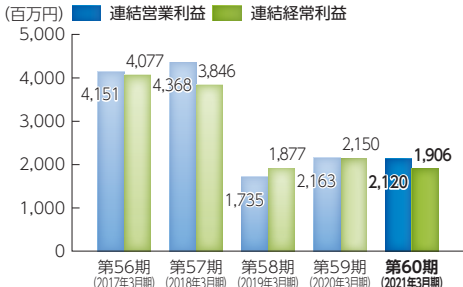


■1株当たり当期純利益／1株当たり純資産



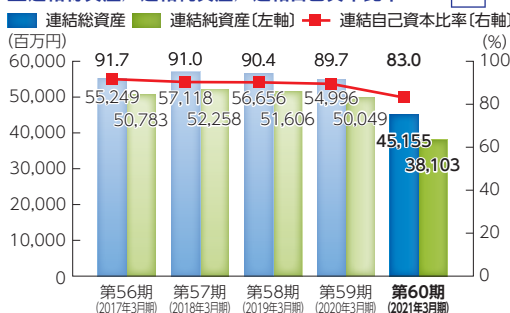
■連結営業利益／連結経常利益

2

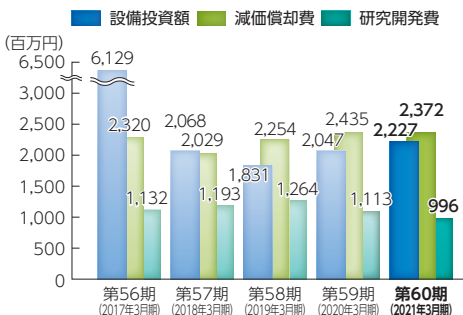


■連結総資産／連結純資産／連結自己資本比率

4



■設備投資額／減価償却費／研究開発費



POINT 1

当期における連結売上高は29,437百万円(前期比6.4%減)となりました。

POINT 2

連結営業利益は2,120百万円(前期比2.0%減)、連結経常利益は1,906百万円(前期比11.4%減)となりました。

POINT 3

親会社株主に帰属する連結当期純利益は893百万円(前期比82.5%増)となりました。

POINT 4

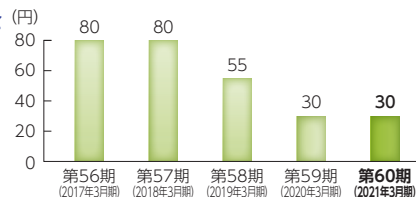
連結純資産は38,103百万円(前期比23.8%減)、自己資本比率は83.0%(前期比6.7ポイント減)となりました。

株主還元について

**1株当たり
配当金30円**

当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また、安定的配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績予想を勘案して、中間配当を含む年間配当を1株当たり30円とさせていただきます。

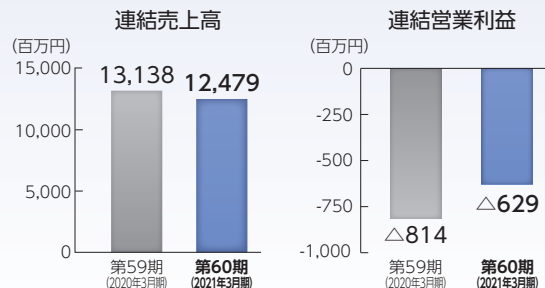
■配当金



事業別概況

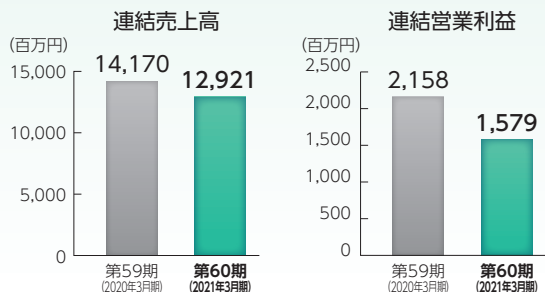
エンブラ事業

自動車用部品は、最適設計による新アプリケーションの開発や新規顧客の開拓が進捗したことで受注が増加するとともに、当第2四半期以降は世界的な自動車需要の回復を受け、売上は好調に推移しました。バイオ関連製品は既存顧客及び新規顧客からの受注が増加したことにより、売上は好調に推移しました。プリンター用部品においては、テレワークの普及によりオフィス需要は回復が鈍いものの、家庭需要は増加傾向にあり、全体的には緩やかな回復の兆しが見えております。当該エンブラ事業には、新規分野への先行投資や新事業開発が含まれています。



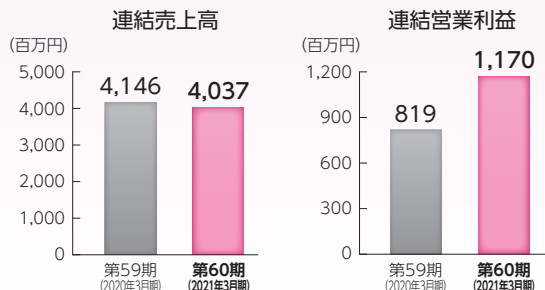
半導体機器事業

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、半導体市場の一段落や米中の輸出管理規制強化の影響により、モバイルやサーバー用途の販売が減少したものの、当第3四半期以降は車載、サーバー用途の需要の高まりを受け、販売は回復傾向にあります。米中の輸出管理規制や半導体の逼迫など予断を許さない状況が続くものの、半導体需要は拡大基調にあり、車載、サーバー用途を中心に今後も販売は好調に推移すると予想しております。



オプト事業

光通信関連の光学デバイスは、ローエンド領域では競争の激化により売上が減少したものの、次世代高速通信用途の需要の高まりを受け、ハイエンドやミドルエンド製品の販売が好調に推移しました。LED用拡散レンズは、国内顧客への販売が好調に推移するとともに、構造改革や業務の効率化により収益性が向上しました。



Governance (ガバナンス)


コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

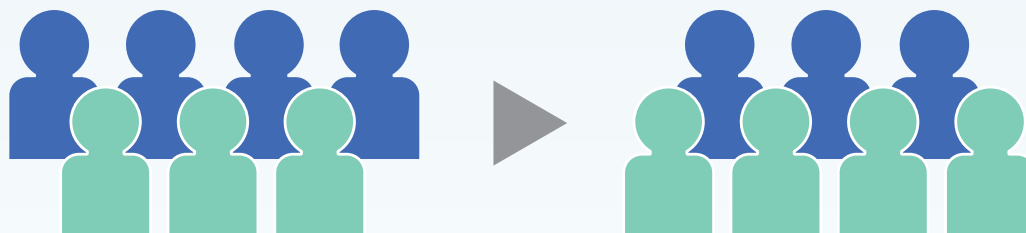
当社の経営方針・企業精神・企業倫理を具現化したものが企業理念であり、社会の発展に寄与すべき企業使命を明確にするとともに当社のコーポレート・ガバナンスの基本原則となっております。その企業理念に基づき、持続的な企業価値の向上を実現する為に、「エンプラス コーポレート・ガバナンス ポリシー」を制定し、コーポレート・ガバナンスの継続的な充実に取り組んでおります。

ガバナンス改善事項

3ページ掲載の「中長期で目指す姿」を達成するために、下記ガバナンスの強化が必要だと考えております。

社外取締役の増員 (3名→4名、独立社外取締役比率は過半数へ)

 社外取締役



指名・報酬諮問委員会の設置 (独立社外取締役過半数、議長は独立社外取締役)

取締役等の指名及び報酬等の決定に関する手続きの独立性・透明性・客観性を強化し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図るため、取締役会の下に任意の諮問機関として指名・報酬諮問委員会を設置しました。

長期インセンティブとしての譲渡制限付株式報酬制度の導入

当社の取締役 (監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。) に、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として譲渡制限付株式報酬制度を導入しました。

取締役会の実効性評価

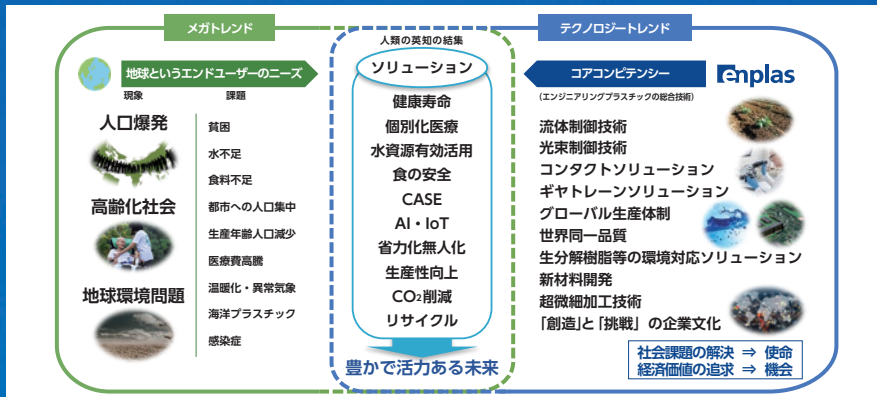
当社はこれまで自社によるアンケート形式で実施しておりましたが、2020年より第三者機関によるインタビュー形式で、取締役会の実効性評価を実施いたしました。

エンプラスのESG

当社は創業以来、エンジニアリングプラスチックによる超精密加工に特化し、創造的価値を世界市場に提供することで社会に貢献してまいりました。当社グループの経営方針・企業精神・企業倫理を具現化したものが企業理念であり、社会の発展に寄与すべき企業使命を明確にするとともに当社グループのコーポレート・ガバナンスの基本原則となっております。

近年、企業存続に向けたESGやSDGsへの取り組みや情報開示に対する社会の要請が高まっており、当社グループでは、社長のリーダーシップのもと、当社グループのコアコンピテンシーと社会課題を紐付けた「エンプラスの目指す姿」を策定するとともに、従業員に向けたESG情報の発信を行っています。

〈エンプラスの目指す姿〉



Environment (環境)

当社グループは、下記環境方針を定め、環境マネジメントシステムを7拠点(下記適用範囲参照)で構築し、「環境マニュアル」に基づいた活動を推進しています。

環境方針

エンプラスは、エンジニアリングプラスチック及びその複合材による、高精度・高機能プラスチック精密機構部品・製品の開発、製造、販売に関わるあらゆる面で、地球環境の保全を企業の果たすべき重要な課題として捉え、その保護活動に積極的に取り組みます。

1. 環境目標を設定し、それを達成するために全社的な環境管理システムを構築し、継続的な改善向上を図ります。
2. 業務の合理化や改善等を通し、環境負荷の低減・省エネルギー(電力使用量等削減/CO₂削減)を推進します。
3. 廃プラスチックの削減と再資源化を推進します。
4. サプライヤーとの協働により調達品の環境負荷低減に努めます。
5. 環境規制や環境協定等を順守します。
6. 企業活動から汚染を排出しないようその予防に努めます。
7. 社会の一員として、地域の環境保護や維持に貢献します。

〈適用範囲〉

組織の単位・物理的境界	区分	適用範囲
エ 株 式 会 社 グ ル ー プ 全 体	グローバル本社	自己宣言
	本社	自己宣言
	鹿沼工場	審査登録
国 内 グ ル ー プ 会 社	株式会社エンプラス 研究所	自己宣言
	株式会社エンプラス ディ스플레이デバイス	自己宣言
	株式会社エンプラス 半導体機器	自己宣言
	QMS株式会社	自己宣言

適用範囲: エンジニアリングプラスチック及びその複合材によるプラスチック精密機構部品・製品の開発、製造

Social (社会)

当社グループは、下記品質方針を定め、ISO 9001に基づく品質マネジメントシステムを構築し、「品質マニュアル」に則ったオペレーションを行っています。

エンプラス品質方針

お客様に感謝されるより良い品質の製品とサービスを提供します。

1. エンジニアリングプラスチックを基盤とした総合技術による確かな品質で、世界市場のニーズに応え、社会の発展に貢献します。
2. 法令、規制、お客様の要求事項を遵守し、お客様から信頼を得られるよう行動します。
3. 品質マネジメントシステムの継続的な改善により、あらゆる変化に対応できる品質基盤を堅持します。

2020年6月10日改定

研究開発

当社グループはSDGsが掲げているゴールや、AIや自動運転などが可能にする世界からバックキャストしながら、様々な研究開発に取り組んでいます。具体的には、エンジニアリングプラスチックの環境負荷低減に向けて、カーボンニュートラルかつ生分解性のあるプラスチック材料の利用に向けた新しい樹脂材料の成形性改善にも取り組んでいます。また、UVC-LED(短波長紫外線)を用いた殺菌に関する要素技術開発に取り組み、UVC-LED用レンズや水殺菌モジュールを開発しました。

当社のUVC光学素子が旭化成社UVC LEDユニットに搭載決定

当社のUVC(深紫外線)光学素子が、旭化成株式会社のUVC LEDユニットに搭載されました。UVC LEDは優れた殺菌(不活化)性能を実現するUVC光(200~280nm)を発生させられることから、水銀ランプの置換デバイスとして期待されており、益々汎用性が高まっていくことが予想されております。当社の技術はUVC光の効率的な照射による殺菌性能向上やUVC LEDの灯数削減によるコスト最適化・低消費電力化等を実現し、お客様のアプリケーション開発に貢献できるものと考えます。

当社は、上記のUVC光学素子だけでなく、ウイルス・菌類の効率的な殺菌を実現する水殺菌モジュール等のアプリケーション開発も実施しております。当社は今後もUVC LEDの光制御技術を通じて、新型コロナウイルスをはじめとする様々な社会課題を解決するためのソリューションを提供し、社会の発展に貢献してまいります。



エンプラス製UVC光学素子搭載の旭化成株式会社製UVC LEDユニット

会社概要 / 株式情報 / 株主メモ

(2021年3月31日現在)

会社概要

商号 株式会社エンプラス
所在地 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
設立 1962年2月21日
資本金 80億8,045万円
従業員数 1,563名(連結)

(2021年6月23日現在)

取締役

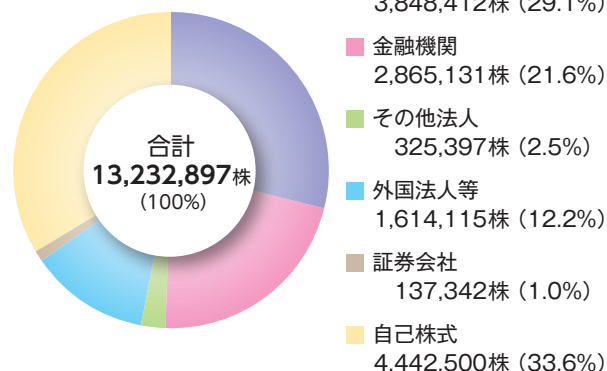
代表取締役社長	横田 大輔
取締役兼経営執行役員	藤田 慈也
社外取締役	風巻 成典
社外取締役(監査等委員)	井植 敏雅
社外取締役(監査等委員)	久田 眞佐男
社外取締役(監査等委員)	天羽 稔
取締役(監査等委員)	當間 和幸

(2021年3月31日現在)

株式情報

発行可能株式総数 62,400,000株
発行済株式総数 13,232,897株
株主数 2,975名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

郵便物送付先、連絡先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日

公告方法 電子公告 (<https://www.enplas.co.jp/>)

上場金融商品取引所

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (お問い合わせ) ☎ 0120-288-324

ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。

貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET (<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>)にて開示しております。

東京証券取引所 市場第一部

グローバルネットワーク

国内ネットワーク

グローバル本社

東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング9F

本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号



東京都
・グローバル本社



本社
株式会社エンプラスディスプレイデバイス



鹿沼工場



株式会社エンプラス半導体機器



QMS株式会社



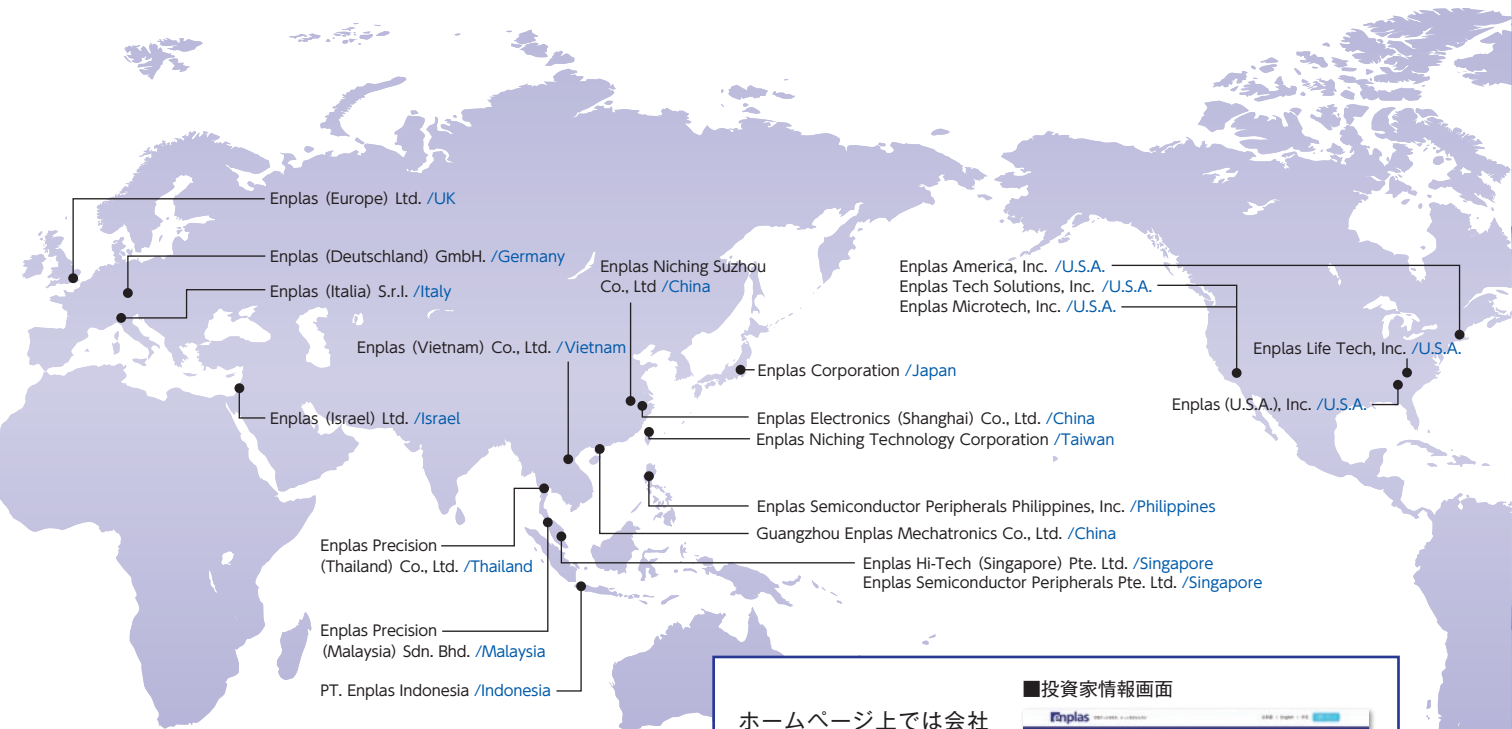
株式会社エンプラス研究所

グローバルネットワーク

■ 海外ネットワーク

技術の絆。信頼の絆。活躍の舞台はグローバルです。

アジア、アメリカ、ヨーロッパにある世界拠点を結ぶグローバルネットワークによって24時間稼働し続ける「エンプラス」グループ。こうしたグローバルネットワークを通じて、企画・開発段階から、各産業界のトップメーカーと技術に裏打ちされた信頼のパートナーシップを構築。世界企業としてエンプラスは、さらに大きく羽ばたこうとしています。



株式会社エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
Tel : 048-253-3131 (代表) Fax : 048-255-1688
<https://www.enplas.co.jp/>

UD FONT
見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C009249

VEGETABLE
OIL INK

■ 投資家情報画面
ホームページ上では会社概要、財務情報をはじめ業務内容やプレスリリースなど最新の情報を幅広くお知らせしています。ぜひご覧ください。

エンプラス IR 検索

